

新しい治療法を見つけるために

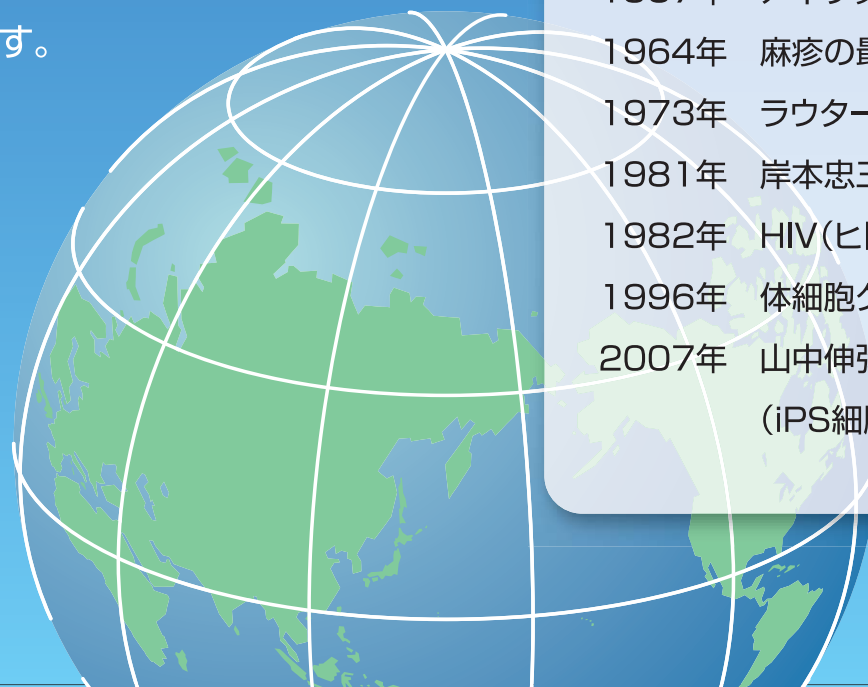
医学の研究とは、生命の神秘を解き明かし、生命の営みの原理に基づいて、なぜ病気が起こるのかを解明しようとするものです。そして、研究で知り得た情報をもとに、新しい治療法や予防法が開発されます。

そのおかげで昔は治療法がなかった病気が、今では治療できるようになっています。例えば、世界中で恐れられていた天然痘は、ワクチンが開発されたことで地球上から姿を消しました。

しかし、いまだに原因がわからない難病も数多くあります。原因がわかっているにもかかわらず、治療法が発見されていない病気もあります。こうした研究を遂行していくためには、医学研究者のほかに、さまざまな分野の専門家や実際に治療を受ける患者さんの協力が必要となります。

このテキストでは、新しい治療法を発見するための過程を紹介していきます。これを機会に、皆さんも医学の進展について考えてください。

きっと、新しく発見することがいっぱいあるはずです。



医学の近代史

- 1796年 ジェンナー(英)が天然痘ワクチン開発(予防医学)
- 1803年 ゼルチュナー(独)がモルヒネ発見
- 1882年 コッホ(独)が結核菌発見
- 1890年 北里柴三郎(日)とベーリング(独)が破傷風とジフテリアのワクチン開発(血清療法)
- 1895年 レントゲン(独)がX線発見(放射線療法)
- 1897年 ホフマン(独)がアスピリンの合成に成功(世界初の合成医薬品)
志賀潔(日)が赤痢菌発見
- 1911年 野口英世(日)が梅毒スピロヘータ純培養に成功
- 1921年 バンティング(加)がインスリン発見
- 1928年 フレミング(英)がペニシリン発見
- 1929年 バーガー(独)が人の脳波診断を確立
- 1932年 ドーマク(独)が連鎖球菌に対する化学療法を発見
- 1952年 ソーク(米)がポリオワクチン開発
- 1957年 アイザックス(英)らがインターフェロン発見
- 1964年 麻疹の最初のワクチン開発
- 1973年 ラウターバー(米)がMRIによる画像撮影に成功
- 1981年 岸本忠三(日)がIL-6抗体発見
- 1982年 HIV(ヒト免疫不全ウイルス)発見
- 1996年 体細胞クローンの子羊ドリー誕生
- 2007年 山中伸弥(日)らが人工多能性幹細胞(iPS細胞)生成技術発表

